

柳津小学校だより

鳴神山



2019, 11, 15 No, 24

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



個別懇談、よろしくお願いいたします！

11月19日(火)より、個別懇談が行われます。お忙しい中、お時間を割いていただき誠にありがとうございます。学校での様子についてお話しさせていただくことはもちろんですが、ご家庭での様子も教えていただき、学校、家庭が連携して、お子様の健やかな育ちのために、共にスクラムを組んでいければと思います。よろしくお願いいたします。なお時間が多少前後してしまった際は、ご容赦いただきますよう、よろしくお願いいたします。



自分で作るお弁当の日

11月12日(火)は、自分で作るお弁当の日でした。高学年の皆さんの中には、全部自分で作った子どもたちもいたようですが、ご家庭の協力なしにはお弁当は完成しなかった人も多数いるのではないかと思います。朝のお忙しい中、また前日から、ご協力いただきました保護者の皆様に感謝いたします。また、6年生はこの日に合わせて調理実習を行い、全部自分たちで一食分を完成させました。子どもたちの顔は笑顔であふれていました。



クラブ見学会！

11月13日(水)はクラブ見学会でした。1年間のクラブ活動のまとめをするとともに、3年生が次年度の活動のために見学をしました。3年生は、とても興味津々で活動に見入っていました。4年生以上の子どもたちも1年間の総まとめということと下級生に活動の様子を見られているということで、大変張り切っていました。6年生はもう終了となりますが、5年生以下は次年度の活動がまた楽しみになったようです。

校長のひとりごと（全校朝の会の話より）

11 / 15（金）全校朝の会より



少し前になりますが、日本でバレーボールのワールドカップが行われていました。その中で男子チームは、11試合で8勝3敗でした。これは世界の強い12チーム中、4位という素晴らしい結果を残しました。これはなんと1991年以来28年ぶり。まだ水尾先生も僚介先生も湯田先生も生まれていません。

今まで日本の男子バレーボールチームはなかなか良い成績を取ることができていませんでした。オリンピックには2016年リオデジャネイロオリンピックは最終予選敗退。2012年ロンドンオリンピックは最終予選敗退。2008年北京オリンピックは出場しましたが、予選リーグで5戦全敗の最下位。2004年アテネオリンピックは最終予選敗退。2000年シドニーオリンピックは最終予選敗退。1996年アトランタオリンピックは最終予選敗退。1992年のバルセロナオリンピックで6位。オリンピックで4位に入ったのは1976年のモントリオールオリンピックです。これはなんと43年前です。ではどうして急に良い結果を残すことができたのでしょうか。

エースとして、大活躍を見せた石川祐希選手は「サーブがいいので、多少点差が離れていても、サーブで点を取れる、と自信を持っているのが大きいと思います。」とっています。身長が他の国と比べて低い日本はサーブで相手をくずすということがとても大切だということです。特に西田有志選手は今大会でナンバーワンのサービスポイントを決めていました。1つのことに一生懸命に取り組んだことで、他のレシーブやスパイクもうまくなってきたんだそうです。

また福澤達哉選手は「失敗をこわがらずサーブで攻める若い選手の存在が日本の強さ」と言っていました。

みなさんも1つのことに一生懸命に取り組めば、自分の弱いところが消え、その1つのことから、他のこともどんどん強みに変わっていくかもしれません。また、失敗をこわがらず勇気をもってチャレンジすること、失敗してもいつまでもくよくよしないですぐにプラスに切り替えることもとても大切なことではないかと、校長先生はバレーボールの選手の話聞いてそう思いました。

あきらめないでまずは1つのことにしっかりと取り組み、そこから自分のよいところをどんどん増やしていくこと。失敗してもいいから、逃げずにチャレンジすること。失敗してもいつまでもくよくよしないで、すぐにまたチャレンジすること。そんな日本代表男子バレーボールチームに負けないみなさんの姿がたくさん見られることを校長先生は楽しみにしています。これで校長先生のお話を終わります。

こんな話を子どもたちにしました。「まずは1つのことをしっかりと」そして「失敗をこわがらないこと」そして、例えば失敗しても「逃げずにチャレンジすること」そんな子どもたちの姿がたくさん見られるように、学校・家庭・地域が三位一体となり、子どもたちを育てていきたいと思っています。ご協力、よろしく願いいたします。

